

令和7年度 子育て中の親と町長との懇談会報告書
令和7年12月10日（水）10時00分～ ◆会場 402・403会議室 参加者◆12人（女性12人）
町側出席者◆小野澤町長、佐藤教育長、高橋民生部長、高橋子育て支援課長、馬場健康推進課長
榎本政策秘書課長、政策秘書課秘書広報班（油井・薄）

	意見・要望要旨	当日の回答要旨	担当課	処理状況など
1	○田代運動公園に小さな子ども遊べる遊具を置いてほしい 田代運動公園の複合遊具がある隣の公園の大きな砂場のそばに、小さい子ども向けの木製の遊具がありました。撤去されてしまったため、小さい子向けの遊具を設置してほしいです。	確認をして検討します。 （町長）	都市施設課	同左
2	○勝楽寺の脇道から県道54号に抜ける道の道路整備について 田代の半僧坊（勝楽寺）参道と並行する道路から県道54号へ、車が勢い良く出てきて危険です。また、田代の方から車で県道を上っていくと、隣家の樹木で死角となり、歩行者が見えていないと思います。 朝は見守り隊の方が旗を持って登校班の子たちを誘導しているようですが、帰りは子どもたちの帰宅時間がバラバラで、保護者の見守りも難しいため、停止線や横断歩道を作ってほしいです。	警察との協議も必要なので、時間がかかるかもしれませんが、検討します。 （町長）	住民協働課	道路上の停止線や横断歩道の設置につきましては、県公安委員会が実施していますので、厚木警察署を通じて要望してまいります。
3	○公園に水道を設置してほしい 全部の公園は難しいと思いますが、保育園の散歩などでよく利用する公園だけでも、水道を設置してほしいです。	場所によっては難しいかと思われませんが、確認します。 （町長）	都市施設課	町内の児童遊園地につきましては、町と各行政区で管理していますが、遊びの多様化や少子高齢化の進行などにより、利用されていない公園や維持管理が難しい公園も見受けられるため、将来的な公園の集約や機能分担、長寿命化や遊具の適正配置など、あり方について検討を進めているところです。 頂いたご要望の内容は、保育園や各行政区と情報共有するなど、現在進めている検討と合せて確認します。
4	○未就園児の一時的な預かりについて 子育てをしてる中で、子どもが保育園や幼稚園に入ってから、親が自分の時間を取れると思いますが、入園前の期間は、親はずっと子どもと向き合う時間が続くと思います。 町で、例えば1～2時間、子どもを預かっていただいて、親がリフレッシュできるような制度があるとありがたいです。	同じようなご意見が非常に多いということは十分承知しています。現在、国では「誰でも通園制度」を検討しており、町でも実施できるか検討しているところです。 また、保護者が仕事をしてる世帯が優先となりますが、一時保育も実施していますので、よろしければそちらの利用もご検討ください。 （子育て支援課長）	子育て支援課	保育所などに通園していない0歳6カ月～3歳未満の児童を対象に、保護者の就労要件を問わず、月に最大10時間まで保育園を利用できる「こども誰でも通園制度」を、来年度から中津保育園で開始します。
5	○土日の保育と、日曜日の一時預かりについて 土曜日や日曜日に働いてる方や、どうしても病院に行かなければならないといった外せない用事がある方がいると思います。以前、日曜日に、周りに大人がおらず、1人でずっとYouTubeを見ているような子どもを見かけました。そばに大人がいる安心感は、子どもにとって大切かと思えますので、一時的にでも日曜日に子どもを預かっていただけると、すごく助かります。	土曜日・日曜日の保育、あるいは日曜日の一時預かりは大きな課題です。現在、町では春日台保育園や中津幼稚園において、土曜日の1日保育を実施していますが、日曜日は保育士の確保など様々な課題がありますので、なかなか難しいという状況です。 なお、「ファミリーサポートセンター」という、会員の方がお子さんの預かりをする制度があり、マッチングできれば日曜日でも一時預かりが可能ですので、ご利用を検討いただければと思います。 （子育て支援課長）	子育て支援課	同左
6	○保護者の休暇時の保育について 土曜日や日曜日に仕事をしていると、リフレッシュする時間がないので、たまには子どもを預けて休みたいと思っている人が多いと思いますが、保育園では「親が休みなら、お子さんも保育園を休んで一緒にいてあげてください」とよく言われます。 どうしても必要な場合は登園しても良いと言われますが、親が仕事休みで家にいたとしても、保育園に来て大丈夫という雰囲気をもう少し出してほしいです。	保育士は「できればお子さんと向き合ってもらいたい」という意味で言っているとは思いますが。とはいえ、保護者もリフレッシュが必要だと思いますので、研究させていただきます。 （民生部長）	子育て支援課	保育園は、保護者の就労などにより、家庭において必要な保育を受けることが困難な場合に保育を行うことを目的とした施設であることから、現状では、保護者の仕事が休みの場合は、登園を控えていただくことを原則としています。 しかしながら、子育て世帯の負担軽減や、多様化する保育ニーズを踏まえ、頂いたご意見につきましては、保護者の皆さんに寄り添った柔軟な対応が図れるよう努めてまいります。

	意見・要望要旨	当日の回答要旨	担当課	処理状況など
7	○ドラッグストア等の駐車場に妊婦優先の思いやり駐車場を増やしてほしい 妊娠9カ月目で、町内のドラッグストアにお世話になっていますが、最近できたばかりの大きい店舗の駐車場に、妊婦マークが付いている「思いやり駐車場」が1箇所しかないので増やしてほしいです。	子育てを国や企業など社会全体で支援し、こども家庭庁が推奨する「こどもまんなか社会」の実現を目指していきます。ドラッグストアでは店舗ごとの様々な事情があるかとは思いますが、町でも積極的に各企業に対して「思いやり駐車場」設置のような、子育て支援のお話をさせていただければと思います。 (町長)	商工観光課	同左
8	○「育児用品購入助成券」を増額してほしい 助成券は、以前は4万円ぐらいあり、さらに出産祝い金やお米の引換券などもいただいていたましたが、現在は少なくなっていると感じています。	現在、出産時に10万円の現金と3万円分の「育児用品購入助成券」をお渡ししています。以前は4万5000円分の助成券をお渡ししていましたが、その時は、国からの出産祝い金10万円の制度がなかったため、それらを総合的に考慮し、現在は助成券が3万円分となっています。 また、お米引き換え券については、以前に開催したこの懇談会での要望を踏まえ、幅広い用途に対応できるよう、育児用品購入助成券に変更した経緯があります。 (子育て支援課長)	子育て支援課	同左